



春季彼岸会法要
三月二十日(木)午後一時三十分勤修
子供会報告
詳細は2頁
詳細は3頁



修正会住職法話



2024年 報恩講 (隆先生)



報恩講 御俗性拝読



修正会勤行

光照寺寺報
発行所
真宗大谷派 弘興山
宗教法人光照寺
〒331-0821
さいたま市北区別所町102-2
電話：048-651-2781(代)
FAX：048-651-2753
E-mail
yasuragi@beige.ocn.ne.jp
ホームページ
http://koshoji76.jp
発行人 住職 池田孝三郎

親鸞聖人のみ教えに聞く会

- ◆ 令和7年3月10日(月)
- ◆ 午後1時30分～4時30分
- ◆ テキスト:『教行信証』
- ◆ 講師:延塚知道先生(大谷大学名誉教授)
- ◆ 会場:光照寺本堂
- ◆ 会費:500円

※ご参加の方は事前に当寺へお申し込み下さい。人数を制限する場合があります。
 ※5月16日(金)・7月8日(火)・9月10日(水)・11月5日(水)



春季彼岸会法要 兼 前任職七回忌法要

- ・ 3月20日(木)春分の日
- ・ 午後1時30分～3時まで(1時受付)
- ・ 光照寺本堂にて
- ・ 勤行・住職挨拶・法話：
中島綱浄師(金沢教区 普照寺住職)

※準備の都合上、出席人数をご連絡下さい。
 預骨されている方は率先してお参り下さい。
 ご参詣をお待ちしております。

彼岸参り

- ・ 3月17日(月)～23日(日)の期間
(但し20日は除く)

※ご希望の日にちをお知らせ下さい。時間につきましてはこちらで調整させていただきます。ご自宅か当寺のいずれかで読経いたします。

ひとくち 歎異抄

羅漢：「^{へんじ}辺地の往生をとぐるひと、
 ついには^{じごく}地獄におつべしということ。」
 とはいかに。第17章



「本願をうたがうによりて、^{へんじ}辺地に生じて、うたがいのつみをつぐのいでち、
 報土のさとりをひらくとこそ、うけたまわりそうらえ。」

川越喜多院の五百羅漢



ヨガ



ベビーマッサージ



お知らせ

寺務所より

●法要のご案内

●春季彼岸会法要兼前任住職七回忌法要
三月二十日(木)、午後一時三十分より勤修。住職挨拶、法話、中島銅浄師(金沢教区普照寺住職)

●光照寺護持会

会員の方は護持会費の納入をお願い致します。又、随時新会員受付中。別紙案内をご覧下さい。総会は六月二十六日。落語もあります。

●聞法会のお知らせ

●親鸞聖人のみ教えに聞く会
講師は延塚知道先生(大谷大学名誉教授三月十日、五月十六日、七月八日、九月十日、十一月五日、午後一時三十分～四時三十分)『教行信証』を学んでいます。ご参加の方は事前に当寺へご連絡下さい。会費五百円。

●大経の会

二月二十六日、十二月三日、午後二時～四時。講師は住職。『正信偈讃仰』(七)を学んでいます。

●我聞の会

三月五日、四月十六日、五月二十一日、午後二時～四時。『歎異抄』を学んでいます。講師は住職。

●微風学会

三月二十六日、四月二十三日、五月二十八日、午後二時～四時。講師は住職。高僧和讃講義(三)(二)延塚知

道著)を学んでいます。

●サークル

●絵解きサークル
二月十八日、四月七日、六月九日。

●子供会

四月四日(金花まつりです)。

●テラヨガ

お寺でヨガ。毎週月曜十時～十一時。講師トモヨ先生。興味ある方はお問い合わせ下さい。

●ベビーマッサージ教室

毎月第三火曜十時三十分～十一時三十分、生後二ヶ月～一歳位までの赤ちゃん対象。インストラクターは遠藤尚子先生。会場はお寺。興味ある方はお問い合わせ下さい。

●お願い

●ご自宅で法事の際は駐車場をご用意下さい。
住所・電話番号変更の際は必ずご連絡下さい。

俳句・川柳

吉澤 光昭

水仙の咲きし轍や車力道

春立ちぬ遮断機降りし向こうにも

どこまでも拡がる野焼追ういのち

菜園の足元重く凍てゆるむ

蛭にも意志のありけり口開けず

短歌(詩)

佐々木 玄吾

会館の畑の前の公園で

冬の日浴びて幼児群れたり

仲田の森蚕糸公園一周す

我より速し妻の歩みは

釋尼 邦照 (前坊守)

元日の ふるさと災害 惨状の

知るたび聞くたび 復興願う

落葉くべ ホクホク焼キイモ

豚汁も 子等のえがおに

寒さふき飛ば

たわわなり こがねに色づき

ふゆ柿を 聖人の像下

皆でよろこぶ



トウモロコシ 山田 邦興 画

梵鐘

超高齢社会に突入。終活セミナー、終活ノートの勧めなど行政も企業も世論を煽る。断捨離と人生の整理をして家族が困らないように伝えたい言葉、財産分与、延命治療、葬儀はと自分の意思を示す必要性を言う。今後はデータのIDやパスワードの伝達も必要になる。これらは大事だが、本当に大切な終活は別にあるのではないか。蓮如上人は後生の一大事と言われるが、私にとつてそれがはつきりしているのか問われ続けている。帰すべき世界が今ここにあるのか、死の受容は生を明確化させる。一瞬一瞬の時をどう生きるのか、これこそが終活の極地ではなからうか。

釋尼雅亮